



キャロット通信

平成25年6月1日発行
わかやまこどもクリニック

第81号

<http://www.wakayama-kodomo.com>(パソコンサイト)
<http://www.wakayama-kodomo.com/i/>(携帯サイト)

夏服の白さがまぶしく感じられる時期になりました。これからの時期は気温の差が大きく、肌寒い日もあります。寒暖の差で風邪を引かないように、またエアコンを使用する頻度が高くなっていく時期でもありますので、体温調節をしやすい服装での外出をおすすめします。梅雨の時期は湿度もあがり、食中毒のおきやすい時期になります。食品の取り扱いには十分注意しましょう。また、気管支の弱いお子様はゼーゼーが出やすくなります。定期内服中の方は悪化を防ぐために、薬切れのないようご注意ください。



風疹流行中！

昨年末より全国的に流行しています。妊娠中に風疹にかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害（先天性風しん症候群）が起こります。しかし、妊娠中は予防接種が受けられません。妊娠中の女性にうつさないよう、周りの人皆で予防することが大切です。次の方は、男女・年齢を問わず（大人も）予防接種を実施してください。

- ・風疹に罹ったことがない
- ・風疹の抗体はあるが、数値が低い（3.2倍未満）
- ・ワクチンを接種したかわからない
- ・ワクチンは1回しか接種していない

★当院でもMR（麻疹・風疹混合）ワクチンの予防接種を行っております（大人も実施しています）

無料接種対象年齢↓

1歳～2歳未満と幼稚園年長児（H19.4.2～H20.4.1生）
上記年齢以外一有料 ¥10,500

紫外線対策は万全ですか？

これから夏にかけて、紫外線の量がピークをむかえます。外出の際は紫外線対策をしましょう。

《対策》

- ① 紫外線の強い時間帯（10時～14時）の外出をさける。
＝紫外線量がピークになる時間帯の外出をさける
- ② 帽子をかぶる。衣服で覆う。
＝物理的に紫外線を浴びるのを防ぐ
- ③ 日焼け止めを上手に使う。
＝帽子や衣服では防げない部分に使用する
（日焼け止め使用前にかぶれが出ないか少量で試してみよう）

※院内で敏感肌用日焼け止めのサンプル配布中
数に限りがあります。ご希望の方は受付まで。



赤ちゃんが強い紫外線にさらされることは良いことではありません。止むを得ず外出しなければならない時は上記対策を心がけ、お子様を紫外線から守りましょう。

また、アトピーなどの治療中で軟膏を使用している場合は、塗っているところに紫外線が当たらないように保護して外出をするようにしましょう。特にステロイドの成分が入っている場合は（特に顔）、注意が必要です。

喘息発作が起きやすい時期です

梅雨の時期は、雨が降ったり気温差がはげしくなり、「喘息」の発作が出やすくなります。発作が出ないように、予防内服をして発作を起こさないようにしましょう。喘息の治療の基本は「出てしまった発作を薬で押さえ込む」のではなく、「発作を起こさないように予防していく」ことです。発作が起きない時期が長いほど発作は起きにくくなり、治療できます。一番大切なのは発作が起きていない時期にどのような管理をするかです。薬切れにならないように、早めの受診を心がけましょう。

予防接種を受けましょう

★日本脳炎

3歳～19歳の方
平成7年4月2日生まれ以降の方は無料で接種できます

★MR2期

来年小学校入学の方（H19.4.2～H20.4.1生）

★DT(二種混合)

11歳以上～13歳未満（誕生日の2日前まで）の方
（※接種日が限られています。詳細は受付にてお問い合わせください）

★子宮頸がん

小学校6年生～高校1年生の女子
（合計3回接種です。順調に受けても完了までには最短でも6カ月かかります）

＜追加接種の受け忘れに注意！！＞

★DPT(追加)

1期3回目の接種後1年後～接種可

★日本脳炎(追加)

1期2回目の接種後1年後～接種可

★ヒブ(追加)

※1回目の接種開始が1歳未満の方
前回のヒブ接種後7ヶ月後～接種可

★肺炎球菌(追加)

※1回目の接種開始が2歳未満の方
前回の肺炎球菌接種後60日後、かつ1歳以上～接種可
ヒブ、肺炎球菌は開始月齢によって合計接種回数異なります。
ご不明な点は受付までお問い合わせください

平日夕方、日曜日接種可能です。
秋～冬の病気が流行する時期が来る前に…
受けられる予防接種を済ませましょう

プールが始まります！

こども達はプール遊びが大好きです。水に入ると体力を消耗しやすいので、体調を崩していると感染症にかかりやすくなったり、事故やけがの原因になります。

お子様の状態を十分に把握し、体調を崩しているときは無理をしないようにしましょう。

また、水イボがあるとプールに入れませんが、水イボは自然に治癒するまでに時間がかかり、ほとんどのこどもは治る前に掻き崩し、広範囲に広がり治療が大変になります。数が少ないうちに、早めに受診しましょう。



「うさぎくらぶ」ご案内・登録方法

予防接種のお知らせなどは、「うさぎくらぶ」のメールで配信いたします。

～おもな配信内容～

- ワクチンの入荷状況や、不足状況
- ワクチン不足時の優先予約案内
- 定期予防接種対象の方へのご案内
- 臨時診療・診察時間の変更など

かかりつけの方に、いち早く情報を提供させていただきますので、皆様登録をお願いします。

まずは当院 HP へアクセス

<http://www.wakayama-kodomo.com> (パソコンサイト)

<http://www.wakayama-kodomo.com/i/> (携帯サイト)



携帯の方はこちらをバーコードリーダーで読み取って下さい。
バーコードは診察券にもついています。

迷惑メール対策で、メールの設定をされている場合

登録作業前に、ml@wakayama-kodomo.com の許可設定をお願いします。

せっかく登録いただいても、メールが送信できない方がたくさんいらっしゃいます。お手数ですが、当院のアドレスの許可設定をお願いします。

夜間診療

毎週、月・火・木は夜間対応20時まで
(10月～は21時まで対応予定)

夜間診療日は、夜間診療準備のため
16:30～17:00まで一時休診(受付可)

祝日・年末診療

11月～3月の祝日は診療します。
診療日・時間の変更、及び年末年始の診療日はご確認の上ご来院ください。

24時間電話予約

コンピュータにて24時間予約受付



当院の特徴

日曜診療

毎週13時まで

予防接種・健診専用待合診察室

病気の方とは別の部屋で、お待ちいただけます。別に部屋がありますので、診療時間内いつでも実施できます。

(要予約) 日・祝・夜間も実施できます。

梅雨は食中毒に注意！

梅雨の時期から夏にかけて食中毒が発生しやすくなります。食中毒の主な症状は、嘔吐、下痢、腹痛、発熱で、血便が出ることもあります。抵抗力の弱い乳児は重症化しやすいので、早めに受診しましょう。

＜下記のような症状の時は早めに受診しましょう＞

下痢の回数が多く止まらない
水分が全く摂れない
高熱が出ている
血便が出る
腹痛がひどく、嘔吐回数が多い



診療時間変更のお知らせ

当院では、週3回(月・火・木曜日)夜間対応をしておりますが、感染症の流行が落ち着いているため、**診療時間を「20時まで」に変更しています。**

夜間は、大分市小児夜間急患センター(097-574-7876)が20～22時まで診療しています。急変時、朝まで様子を見られない場合に電話連絡の上受診してください。受診したらよいか判断に困った場合はこちらをご利用ください。

＜大分県子ども救急電話相談事業＞

097-503-8822 または固定電話から#8000

相談時間 平日 19時～翌朝8時

日・祝日 9時～17時、19時～翌朝8時

＜日本小児科学会「子どもの救急」ホームページ＞

<http://kodomo-qq.jp/>

なお、感染症が流行する時期には、また21時までの診療に戻します。

今後の予定

毎週月、火、木は夜間対応
9月までは20時まで

6/ 6(木) 学校健診の為午後15時～
6/ 16(日) 当番医の為17時まで診療
6/ 20(木) 学校健診の為午後15時～
7/ 15(月) 海の日の為休診
8/ 9(金) 13時まで診療(午後休診)
8/ 10(土)～17(土) 夏季休診

※8月は長期休診予定です。お薬切れなどのないようご注意ください
※休診や診療時間の変更は「うさぎくらぶメール」でお知らせいたします。かかりつけの方は登録を済ませて下さい。